

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和2年 春 第62号

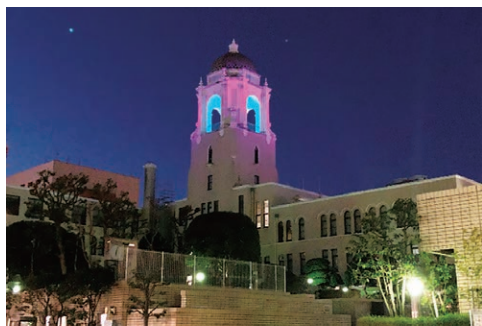
あかり

A K A R I

パープルデー静岡2020	1
第45回てんかん専門職セミナー	2
JEPICA 2020 でポスター発表	3
アリスの謎解きティーパーティー	3
てんかん学習プログラム(famoses)のお知らせ	4
入院病棟で薬剤師は、なにをするの？	5
既製品でもっとかんたんに「てんかん食メニュー」	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

パープルデー静岡2020

パープルデーは、てんかんについて理解を深めてもらうための国際的なイベントで、当日は紫色のものを付けたり飾ったりします。



令和2年2月18日(火)18時、静岡市の夕闇に一つの紫色光が灯りました。静岡市役所本館あおい塔ドームを紫色にライトアップする取り組みも今年で5年連続となりますが、昨年からあおい塔ドーム内の灯りがLEDに更新され、さらに今年は、ドームの内側と外側それぞれでライトアップできるようになり、一段ときれいに輝くよ

うになりました。セレモニーには今年も田辺静岡市長と静岡けやきライオンズクラブ会長をお迎えし、さらに静岡英和女学院ハンドベルクワイアの皆さんが素晴らしいハンドベルによる演奏で華やかな雰囲気を加えてくださいました。

3月20(土)、21日(日)には、静岡市役所前の青葉イ



ベント広場にて開催されるSBS春まつりにブースを出展し、皆様に直接パープルデーのことをご紹介する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止対策により人の集まるイベント等は自粛となり、SBS春まつりも残念ながら開催中止となってしまったため、次の機会へ準備していきたいと思います。

また、3月26日(木)パープルデー当日も院内でのイベントは自粛し、質素な形でのパープルデーとなりましたが、今年も外来ホールに「紫のねがい」



と名付けたツリーを設置し、患者さんやご家族等にてんかん等の病気に対する思いや願いを短冊やプレート等にご記入いただきました。今年のツリーも見事な紫に染まり、改めて皆さんの思いや願いの強さを感じるものとなりました。そして病院としてその思いや願いの力になれるように努力していく後押しとなりました。

(企画課長 森谷 長)



第45回

てんかん専門職セミナー

放射線科

副診療放射線技師長 葛城 裕幸

第45回てんかん専門職セミナーが令和2年2月13日に開催されました。

「てんかんを持つ成人に関わる専門職を対象とし、てんかんに関する知識、生活支援を行う際の留意点、指導機関と医療との連携について理解を深め、また、専門職同士が情報を共有化し、援助のあり方を考える」を目的に成人てんかんの理解を深めていただくために毎年開催しています。当日は新型コロナウイルスによる影響も心配しましたが多くの方に参加していただきました。

講義内容

①「日常生活で遭遇するてんかん発作の正しい理解」 西村 亮一(医師)

②「てんかんを持つ人の日常生活」

田尻 浩(副看護師長・院内認定てんかん看護師)

青柳 政彦(院内認定てんかん看護師)

③「てんかん患者さんの高次脳機能障害」

井上 和哉(作業療法士長)

当院の医師、スタッフがそれぞれ講義を行いました。参加者の皆さんは熱心に講聴や質問をされました。

勤務施設における入所者のてんかん発作時の対応についての質問が多く普段の仕事に対する意識の高さがうかがえました。

講義後は病院内のてんかんに関わる設備や検査について見学していただきました。

てんかんに関わる仕事をされている方の一助になれるようセミナーは来年度も開催予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

JEPICA 2020 でポスター発表

A6病棟 看護師 伊藤 さやか



JEPICAにて「てんかん患者の就労を困難にさせる要因～入院患者の就労状況調査から見えてきたこと～」という演題でポスター発表させていただきました。多くの方にご清聴いただき緊張しましたが、とても良い経験となりました。さらに、他病院のポスター発表やシンポジウム、セミナーを聞くことで、新たな知識や考えを学ぶことができ、楽しく、とても良い刺激となりました。また、日頃、自分が行っている看護を振り返り、自分の看護観を深めることもできました。今回の学びを、これからの看護実践に活かし、てんかんについてさらに学び続け、一人でも多くの患者さんのお役に立てよう自己研鑽していきたいと思います。



アリスの謎解きティーパーティー

ひまわり通園担当保育士 望月 恵



ひまわり通園で予定していた静岡市立美術館「不思議の国のアリス展」への外出は中止となりましたが、その代わりに原作のティーパーティーの場面を模して「アリスの謎解きティーパーティー」を開きました。謎解き部屋の支配人から出されるクイズとウェイトレスが淹れる紅茶をご家族と一緒に楽しみました。部屋を脱出すべく謎解きに挑戦しましたが、どれも難題。「地球上で最も大きな影は？」みなさんはわかりますか。「わかった!」と手を挙げたり、「うーん」と悩む姿…なかなか苦戦しましたが、みんなで考えなんとか脱出成功! 楽しい時間を過



ひまわり通園で予定していた静岡市立美術館「不思議の国のアリス展」への外出は中止となりましたが、その代わりに原

作のティーパーティーの場面を模して「アリスの謎解きティーパーティー」を開きました。謎解き部屋の支配人から出されるクイズとウェイトレスが淹れる紅茶をご家族と一緒に楽しみました。部屋を脱出すべく謎解きに挑戦しましたが、どれも難題。「地球上で最も大きな影は？」みなさんはわかりますか。「わかった!」と手を挙げたり、「うーん」と悩む姿…なかなか苦戦しましたが、みんなで考えなんとか脱出成功! 楽しい時間を過

ごすことができました。今後もひまわり通園では、イベントや日々の活動を利用者、家族、職員が一緒になって楽しめるよう工夫していきたいと思います。





famosesはてんかんのある子どもとその親・家族のための学習プログラムです。

てんかんのある子どもやその親・家族が、それぞれほかの子どもたちや親と、トレーナーを交えて意見交換しながら、てんかんについての知識や、てんかんと向き合う方法について学びます。

famosesは、子どものコースと、親と家族のコースに分かれています。

子どものコースでは、子どもたち(およそ8歳～12歳)はバーチャルな船旅に出発し、遊びを通しててんかんについて学習します。

親と家族のコースでは、てんかんに関する基礎知識、診断、治療、予後と発達、病気との向き合い方などについて学習します。

知識を深めるだけでなく、病気との向き

合い方を振り返り、お子さんの自立に向けてより良い支援ができるようになることを目的としています。

令和2年度は、下記の日程で実施します。

第1回

6月8日～18日

第2回

8月3～5日(夏休みの短期コース)

第3回

10月23～25日(週末の短期コース)

第4回

(2021年) 1月25日～2月4日

参加希望の方は、主治医や病棟スタッフにお知らせください。

スタッフ一同みなさまのご参加をお待ちしております。





入院病棟で薬剤師は、なにをするの？



薬剤師はどんな仕事をしていると思いますか？と質問をすると、多くの人から、「薬を作る仕事」や「薬の説明をしてくれる仕事」といった返事をもらうことは多いですが、それ以外はほとんど聞かれません。病院で一緒に働いている他の職種からも「入院病棟で、薬剤師はなにをしているんですか？」と聞かれることが多いです。そこで今回は、病棟での薬剤師の活動を紹介します。

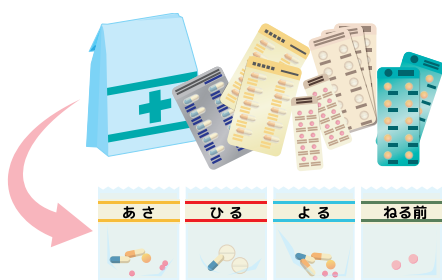
① 服薬状況の確認からサポートへ

入院された際に、普段からの服薬状況を確認しています。また、日頃から飲んでもらっている薬を持ってきてもらうことがあります。飲み忘れたであろう大量に余った薬をみかけることがあります。それは、薬を服用している理由と必要性を理解できていないことが原因として挙げられるため、薬の必要性について説明していくことが大切となります。また、嚥下能力の低下^{*1}で錠剤が飲めない、粉薬を飲むのが苦手など、服薬できない原因が考えられます。医師や看護師などほかの病棟スタッフと患者さんの状況を確認し、錠剤や散薬の適切な剤形選択を考えています。生活状況や環境を考慮して、朝に飲む薬や夜に飲む薬を一回分ずつにまとめて管理がしやすくなる一包化を提案することもあります(下図)。

薬が大きくて飲みにくい、薬の飲み合わせは大丈夫？などといっ

た困りごとがあれば、ご相談してください。

*1 嚥下能力：食物や水分を飲み込む力。

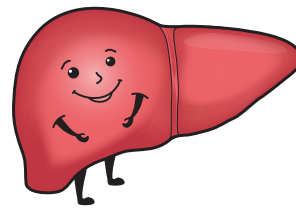


② 内服薬や注射剤の投与量の確認と設定

患者さんと直接お話をし、体の調子やアレルギーなどの体質を確認し、また、年齢や体格、血液検査の

数値から肝臓や腎臓等の機能、薬の血中濃度を確認して、薬の最適な投与量を確認しています。

例えば、腎臓はクレアチンクリアランス^{*2}という数値を用いて、腎臓の働きを計算します。腎臓の働きが低下している患者さんに、腎臓の働きが正常の



患者さんと同じ量の薬を投与すると、薬の働きが強くなることにより副作用が生じる恐れがあります。そのため、薬の量を

減らしたり、投与間隔を延長するなど医師と相談して投与量の設定を行っています。そして、患者さんが服薬し、薬の効果がしっかりと出ているか、副作用が出ていないか等の確認を行っています。

*2 クレアチンクリアランス：

血液の中にある老廃物を綺麗にろ過できる指標の一つ。

③ 病棟・多職種との連携

病棟で起こった薬に関するトラブルについて看護師や他のスタッフと原因を話し合い、同じトラブルが起こらないように対策を考えています。入院病棟に薬剤師の滞在時間が長くなるほど医療の質が向上し、薬に関するトラブルが減少すると報告されています。また、医師の回診に同行することで、治療を行っている患者の状態を評価・共有しています。

最後に、、、4月から病院で働く薬剤師を主人公にしたドラマが放送される予定でした。コロナウイルスの影響で放送が延期されことになりました。見てもらえれば病院薬剤師の仕事内容について、様々な事がわかるのではないのでしょうか。放送された際は、ぜひともご覧ください。

(薬剤部 調剤主任 待田 浩之)



既製品でもっとかんたんに「てんかん食メニュー」

栄養管理室 管理栄養士



ケトン食や修正アトキンス食などのてんかん食食事療方は、数年前に比べるとより多くの方々に認知されるようになってきています。

「食事療法」と聞くと“自分が継続していくことが出来るのか”との不安を抱いたり、“食材の計量や調理が大変なのではないか”と思われたりする方は少なくないと思います。普段調理をされる方ですらそう感じるのですから調理をされない方や苦手な方なら尚のことです。この食事療方は糖尿食や減塩食に比べて情報やレシピ本なども少ないため、患者さんの不安は更に大きいかもしれません。

そんな不安を解消すべく、当院の栄養指導では状況に応じてどなたでも簡単に出来るメニューや調理方法をご紹介しますことがあります。幸いスーパーやドラッグストアなどで低糖質の食品を見かけることが多くなり既製品の成分表示も充実しているた

め、自分が摂取する糖質量を簡単に把握することが出来ます。また食材のスケールでの計量の手間を省いても料理が出来るように、当院では「〇〇を●g」ではなく「〇〇を■枚分」という表記をしたレシピの紹介も徐々に始めています。糖質の制限が主となる修正アトキンス食では、このようなレシピを活用して手軽に食事を作ることが可能となります。

食事療方は正確さも大切ですが、たまには上手に手抜きをして長期継続していくこともまた大切です。私たち栄養士はどなたでも続けられるよう、個々の状況に見合った栄養指導でサポートさせていただきます。

てんかん食食事療方は個々の状況に応じて食事内容等が異なります。

聞きたいことがある方は
担当医か栄養士にお声掛けください。



市販のさば水煮缶とガーリックソースを使った
かんたん「チーズ焼き」(糖質1.7g)



低糖質パンで
かんたん「サンドウィッチ」(糖質5.0g)

診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

曜日	初 診					再 診				
診察室	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室							山 崎	川 口	山 崎	臼 井
第2診察室					荒木 保清	久保田	池田 仁	午前のみ 荒 木	大 松	
第3診察室		今井 克美		臼井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室							鳥 取	日 吉		西 村
第5診察室						池 田 仁	池 田 浩	池 田 浩	寺 田 清	川口 午後のみ
第6診察室						芳 村			芳 村	松 平
第7診察室			山口 解冬				荒 木		美 根	山 口
第8診察室	高橋 幸利			高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室		川口 典彦	芳村 勝城			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司		松平 敬史	池田 仁	山崎 悦子					

脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋 浩嗣	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦 明 (再診あり)	杉浦			山崎
	午後	杉浦				尾内 康臣 (第4週)

特 殊 外 来

認知症疾患医療センター	月・水	小尾 智一
	金	山崎 公也
遺伝カウンセリング外来	適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。
上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広 報 誌 編 集 委 員 会

編集人 ■

西田 拓司	松下 剛	横山 由香
矢嶋 隆宏	佐倉 裕二	葛城 裕幸
堀 友輔	高橋 輝	長田 英喜
福島 啓介		

発 行 ■ 令和2年5月13日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

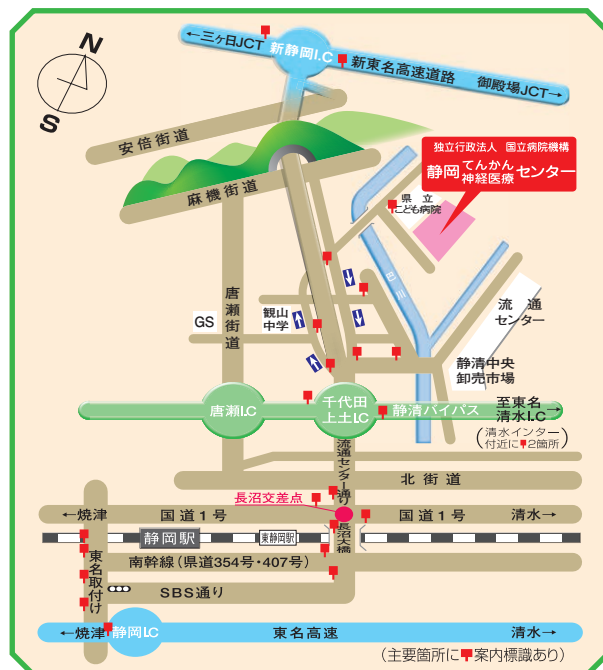
5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス

access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。
	● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。
	● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～
【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

●新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

●プライマリ・ケアのための 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <http://epilepsy-info.jp/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)